



つなかり



「公民館活動活性化ステップアップセミナー」

6月25日(木)、南予各地域で働いている約140人の公民館関係者が愛媛県歴史文化博物館に集まりました。講演や事例発表、グループワークを通じて情報交換を行い、話し合い、学び合い、笑い合うセミナーになりました。

講演 テーマ 「伝わる文章と写真のコツ」 フォトライター 高橋 陽子 氏

午前中は、講師をお招きし、館報作成などに役立つ講演でした。

講師から、「提示資料を自由に撮影してください。今日のテーマ“伝わる”を考えるきっかけになります。」と言っていたのでスタートした講演会です。伝わる文章作成のコツの一つは、「自分が見た事実を、自分の視点で伝える」こと。伝わる写真のコツの一つは、「伝えたいこと“主役”を一つにすること」。

参加者はそれぞれ、「これ、いいな」「誰かに伝えたいな」と心が動いた時に、スマホを舞台に向けていました。また、講師の話聞きながらうなずいている人、真剣にメモを取る人、周りを見回すと、そんな光景を目にしました。

講演会後のアンケートからも、多くのことを学び、学びを生かしたいと思った人がたくさんいたことが分かりました。



【具体的な方法の伝授】



【スマホの設定変更後の試し撮り】

参加者の声

- たより作りに生かせる話が聞けてよかった。誰目線なのか、書いていて迷うことがあったので、自分の視点、主観を大事にして次号を作りたい。
- 文章表現について改めて考えさせられた。言葉の使い方を見直していきたい。
- ただ聴くだけでなく、カメラの操作や考える時間があってとてもよかった。すぐに実践したくなる内容だった。

分科会 午後からは、2分科会で2事例の発表です。その後、5～7人のグループに分かれ、付箋を使ったグループワークを行いました。

① テーマ:地域の「伝統・文化」を継承・保存し、図書活動を充実させる公民館(公民館版SDGsテーマ③)〈宇和島市〉

地域の大切な伝承文化である「亥の子」を後世に残すために、公民館と地域が連携し、工夫しながら継続的に開催している事例を紹介しました。ワークショップでは、発表館の取組をヒントに、自館への生かし方についての意見交換で盛り上がりしました。

② テーマ:「青少年・若年層」の地域づくり参画を仕掛ける公民館(公民館版SDGsテーマ⑥)〈内子町〉

祭りや夏季キャンプ、みこしパレードなど多彩な子ども体験活動と地域連携の状況、課題について紹介しました。ワークショップでは、青少年・若年層を含めた多世代が交流する事業アイデアについての意見が飛び交いました。



事例発表は、各館の強みを生かした実践であり、参加者は自館運営の多くのヒントを得ました。少人数グループワークでは十分な時間があったため、発表内容を基に活発な意見交換が行われたほか、参加者同士の情報交換も十分にできました。